



いまべつ

平成29年

4月号

633

発行/青森県今別町 編集/企画課 ☎0174(35)3012 FAX0174(35)2298
今別町ホームページアドレス <http://www.town.imabetsu.lg.jp/>

北海道新幹線奥津軽いまべつ駅開業1周年！ 記念フォーラム開催！



北海道新幹線奥津軽いまべつ駅開業1周年を迎えた3月26日、開発センターにおいて「北海道新幹線奥津軽いまべつ駅開業1周年記念フォーラム」が開催されました。



阿部町長は「開業からあつという間に1年が経ちました。県や関係者の皆様からの力を借りながら、道の駅いまべつや観光施設の整備、津軽中里駅間を結ぶ二次交通の確保など様々な事業に取り組み、さらには13年ぶりに復活した二股荒馬ほか、各団体による県内外での荒馬の演舞で全国的にも有名になりました。今後も活性化につながるよう大きなチャンスを活かしていきたい」とあいさつを述べました。記念フォーラムでは新幹線にゆかりのある方々からの記念講演があり、新幹線開業までの取り組みや開業の効果、今後の今別町のあり方について話され、会場に訪れた約200名の方々は聞き入っていました。

奥津軽いまべつ駅を利用し、修学旅行に出発してみたの感想

私は初めて新幹線に乗りました。新幹線はとてもスピードが出ると聞いていたので、すごくドキドキしましたが、実際乗ってみると静かな車内でイスもふかふかです。木古内駅に着いたときはもっと乗っていたいと思いました。修学旅行では、記念館巡りや函館の食を味わうことができ、忘れられない思い出となりました。



若佐 心音さん
(今別小6年生)



畠山 拓斗さん
(今別中3年生)

昨年、北海道新幹線奥津軽いまべつ駅が開業し、一番列車が来た時のことを今でも鮮明に覚えており、私たちのクラスが奥津軽いまべつ駅を利用して修学旅行に出発できたことはとてもうれしく思います。修学旅行先では、浅草寺で今別町や駅開業をPRするチラシ等を多くの方に配布しました。開業から1年が経ち、町は活気に溢れています。これからもどんどん活気ある町になってほしいです。

オープニングでは、今別荒馬保存会の皆さんが「荒馬」を盛大に披露し、会場の皆さんと1周年を祝いました。

会場内では「はまなすの会」の皆さんによる「あづべ汁」の無料振る舞い、大川平加工グループが駅開業1周年を祝う紅白餅を配布し、イベントの最後には金沢旅行や湯の川旅行など豪華賞品があたる大抽選会など、記念すべき1日を過ごしました。



華麗に演舞する今別荒馬保存会の皆さん

新幹線にゆかりのある方々からの記念講演



小山内 豊彦氏
(青森県立保健大学特任教授)
演題「これからの津軽海峡交流圏」

新幹線通学者・利用者に対する助成やモンゴルフェンシングチーム合宿誘致など今別町が取り組んできた様々な事業や取り組みに感じています。

奥津軽いまべつ駅は津軽半島や北海道などとの交流拠点、さらには津軽周遊の拠点として大事な場所になります。

二次交通として町が行っている津軽中里駅間を結ぶ路線バスが走っていますが、もっとPRし認知度をアップできれば、さらなる拠点として発展していくと思います。



竹中 博康氏
(石川県副知事)
演題「北陸新幹線開業から」

金沢城の復元整備や二次交通の整備などの魅力づくり、北陸共同の首都圏での情報発信など北陸新幹線開業を全県を挙げて開業対策に取り組んできました。

年数が経つにつれ、熱が冷めていくのが懸念されますが、今後どのようにして開業効果を持続させていくかが課題で、おもてなしの向上、その土地の個性ともいえる財産の磨き上げや掘り起こしが、繰り返し訪れるファンづくりにつながっていくと思います。



綿貫 泰之氏
(JR北海道函館支社長)
演題「北海道新幹線開業1周年～取組と課題～」

新幹線開業により利用者は各段に多くなり、観光施設等の利用実績は前年と比べて増え、開業効果は青函両域へ拡大しています。地域と連携した素材発掘の商品化としてJRヘルシーウォーキングを行い、多くの方に利用いただきました。

今後は奥津軽いまべつ駅をベースとしたモデルコースの提案などを考えています。駅開業効果を最大限に発揮し、一過性とならないよう継続的に地域と連携して取り組みたいです。

奥津軽いまべつ駅舎内も多くの人でにぎわう！

奥津軽いまべつ駅では、「開業1周年記念イベント」が行われ、多くの来場者でにぎわいました。会場には町のゆるキャラ「あらまくん・たずなちゃん」もかけつけ、記念写真を一緒に撮ったり、コンコース内では大川平荒馬保存会の皆さんが迫力ある演舞を披露し、注目を浴びるなど大盛り上がりでした。物産販売では、いのしし串焼き(いのしし牧場)やイカバーガー(奥津軽ドリーム)、トンネル巻き(寿司長)、がっばらもち(大川平加工グループ)などの町特産品等を販売し、ブース内は長蛇の列ができていました。また、駅前広場前では、「いまべつ牛」の販売も行われ、開業を祝う多くの方々でにぎわっていました。



会場の注目を浴びた大川平荒馬の演舞



テープカットを行う阿部町長(右から2番目)

北海道新幹線奥津軽いまべつ駅開業1周年記念イベント 荒馬ワールドカップ2017開催！3団体の荒馬が華麗に舞う！

3月25日、開発センターにおいて北海道新幹線奥津軽いまべつ駅開業1周年記念イベント「荒馬ワールドカップ2017」（支援：公益財団法人むつ小川原地域・産業振興財団）が行われ、会場には約200名の方々が来場しました。開会式では、今別こども園の園児によるかわいらしい荒馬の演舞でにぎやかにスタートし、おとし復活した二股荒馬の部を含め3団体から計17組の参加をいただきました。

出場した方々は、激しい動きや息の合った演舞で観客を魅了し、会場の注目を浴び、観客席からは「ラッセラー」の掛け声がかかるなど会場全体で一緒に盛り上がりました。また、宮城教育大学民族芸能研究会びっきいの佐藤さん、新田さんや青森公立大学で「A-project」の齋藤さん、外国語指導助手（ALT）のエレーナさんも参加し、華麗な演舞を披露すると会場から大きな拍手が送られていました。

会場では、奥津軽ドリーム、いのしし牧場、大川平加工グループ、地場産品等販売所などもわーもがブースを展開し、町の特産品などを販売するなど多くの方々が行列ができていました。



開会式で元気いっぱいの演舞を披露した今別こども園の皆さん



宮城県から参加してくれた

佐藤 一磨さん 新田 梓さん
多くの方に見られて緊張したけど、夏のお祭りとはいちばん違う雰囲気だったけど、楽しかったです。

会場を魅了する演舞を披露した参加者の方々からコメントをいただきました



嶋中 姫乃さん
緊張したけどおもしろかった。また踊りたい。



齋藤 達矢さん
大川平の皆さんが温かく迎えてくれたので楽しく踊れた。



木村 大雅さん・田中 怜来さん
お互いに楽しく踊れたし、練習以上に上手に踊れた。



エレーナさん
今別町に来てから挑戦したいと思っていて、今回踊ることができてうれしかった。



嶋中 幹さん
1人1人一生懸命踊って荒馬の魅力が伝えられた。



小田桐 優穂さん・小田桐大樹さん
夫婦での演舞は少し緊張したけど、楽しく踊ることができた。



相内 昭則さん 江島 祐子さん
二股地区で踊る時とは違う独特の雰囲気を楽しめることができました。いつも通り楽しく踊れた。みんなの声援も嬉しかった。



相内 光代さん
いつものように楽しく踊ることができた。

婚活イベント「Fコンin今別町」 町外の女性に今別町をPR

2月25日、開発センターにおいて今別町若手プロジェクトBチーム主催の婚活イベント「Fコンin今別町」(共催：エフエム青森、協賛：サッポロビール)が行われ、新幹線に乗ってきた町外の女性と町内の男性計25名が参加しました。

町外から参加した女性は奥津軽いまべつ駅到着後、荒馬の里資料館で荒馬の歴史を学んだりトンネル広場を見学したり、町内の観光スポットを巡ったあと会場に向かいました。会場に着いた女性を温かく迎えた男性は、趣味や今別町の好きな所を交えながらの自己紹介、今別町・新幹線に関するクイズなどで盛り上がりました。また「もずくうどん」など町の特産品を参加した女性に味わってもらい、「おいしい」という感想をいただきました。

今回のイベントを主催したBチームリーダーで総務課の澤田淳一主事は「町内に初めて来たという方も多く、今別町の魅力を多くの方にPRできたと思う。荒馬まつりが開催される時期に今別に遊びに来ますなどという声も聞かれた。参加者に楽しんでもらえてよかった」と話してくれました。

参加した男性は今別町の好きな所やお気に入りの場所などを交えながら会話を楽しめました



わけもの集合！若い人の意見がどんどん出される！

2月19日、開発センターにおいて今別町若手プロジェクトDチーム主催の「日曜日だよ！わけもの集合！」が行われました。今回の企画は町内の20～40代の男女18名がアイデアや意見を出し合い、町をもっと良くすることを目的に行われました。参加者は3グループに分かれ、「町に対する要望」と「地域を盛り上げるために若者の力でやってみたいこと」のテーマについて話し合い、「診療所で6歳未満も診療可能にしてほしい」や「町外に若者が流出しないように民間企業の誘致を行い、雇用の場を増やしてほしい」など町に対する要望や「荒馬で全国を巡る」、「ダンス教室・料理教室など若者向けのイベントの開催」など若者のできる事など多くの意見が出されました。

今回のイベント終了後、Dチームメンバーは出された意見をまとめ、阿部町長へ報告・提出しました。

イベントを主催したDチームリーダーで総務課の小鹿亮磨主事は「参加いただいた皆さんからたくさんの意見が出され、阿部町長へ提出することができた。町政に反映して、今まで以上に住みよい町に発展してほしい」と話してくれました。



住みよい町になるように意見を出し合う参加者の皆さん

参加者からの意見

出産祝いがほしい。1人につきカタログギフト1万円分など。	小学校へ入学する子どもへのランドセルプレゼント。
小・中・高校入学にあわせて入学祝いがほしい。	保育園の助成金は続けてほしい。
観光スポットの強化・整備をしてほしい。	中学生までの子供医療費助成を高校生まで続けてほしい。
若者向けの住居の整備をしてほしい。	空き家を整備、再利用した宿泊施設の増加。
新幹線利用者が素通りしないように宿泊施設の整備をしてほしい。	学生とのコラボによる商品開発。

三村知事と新幹線開業1周年・町についてラジオトーク

2月20日、エフエム青森スタジオにおいて「申吾のほっとチャンネル」の収録が行われました。

北海道新幹線奥津軽いまべつ駅が開業して1年を迎え、地元を盛り上げるために様々な活動に取り組んできた奥津軽ドリームの小鹿輝恵さん、こでまりの会会長で今別町観光応援隊のメンバー澤田田鶴子さん、大川平荒馬保存会会長の嶋中卓爾さんが三村知事とトークしました。小鹿さんはまぐろのモツ煮やイカバーガーなどをイベント等で販売してPRしたり、「荒馬」を通して北海道の知内町、江差町との交流を深めたことを紹介しました。澤田さんは本の読み聞かせや紙芝居など子ども達との触れ合いが楽しいと話し、また、今別町を訪れた町外の方と仲良くなり、正月には年賀状が届くなど観光応援隊にやりがいを感じると話しました。嶋中さんは町の伝統芸能「荒馬」を後世に継承していくため若い世代に指導している様子や荒馬の里資料館に訪れた観光客に荒馬の歴史について教えていると話し、出演者は活動の他にやりがいや難しいことなど三村知事と幅広いトークを展開しました。



今別町をPRする左から嶋中さん、澤田さん、小鹿さん

今別こども園 卒園式

3月11日、今別こども園において卒園式が行われました。卒園を迎えた園児7名は名前を呼ばれると元気に返事をし、村上園長先生から卒園証書と記念品を受け取りました。式では、一緒に遊んだ友達や家族の方に「ありがとう」と感謝が述べられたり、運動会や初めてのねぶた運行で楽しかったことなどの思い出が述べられました。また、式の中のお別れの歌では卒園児・在園児ともに歌が会場に響き、感動に包まれました。

最後に卒園した園児からお父さん・お母さんとの思い出や目標を発表し、退場時には卒園児からご家族に花束を手渡し「卒園おめでとう」と声をかけられていました。紙吹雪が舞う中新しく始まる小学校生活を楽しみにしているような表情で多くの方に見送られていました。



卒園を迎えた7名は元気に歌を歌いました

今別小学校 卒業式

3月17日、今別小学校の「平成28年度第17回卒業証書授与式」が行われ、8名の児童が卒業を迎えました。会場からの大きな拍手に迎えられ、きびきびとした行進で入場した6年生は、今小のリーダーとして最後まで在校生に素晴らしい姿を見せていました。巣立ちの詩では大きな声で小学校生活の思い出と中学校での目標を述べ、卒業生が在校生に贈った歌は会場を感動に包み込んでいました。最後に卒業生から保護者に花束を手渡し、「ありがとう」など感謝の気持ちを伝え、これからのさらなる活躍を誓っていました。



卒業生の歌声に会場を感動に包まれました

今別中学校 卒業式

3月11日、今別中学校で「第24回卒業証書授与式」が行われ、3年生13名が卒業しました。

1人ずつ太田校長先生から卒業証書を受け取ると、これから始まる新たな進路を楽しみにしている表情でした。3年生は、昨年初の開催となった小・中学校合同運動会や新幹線を利用して東京へ修学旅行に出発し、浅草寺等で町のPRを行った思い出などを振り返りました。

在校生からはそれぞれの進路を応援するような力強い歌が贈られ涙する場面もあり、会場は感動に包まれていました。



凛々しい表情で式に出席する3年生の皆さん

今別校舎 卒業式

3月2日、青森県立青森北高校今別校舎の卒業式が行われ、5名の生徒が卒業し、式では自分の将来の夢に向け気持ちを新たにされた表情で出席する3年生の姿がありました。

2年の山口舜平さんは送辞で「次は私たちが先頭に立ち、皆さんからの伝統を受け継いでいきます」と述べると、卒業生の相内歩美佳さんは「充実した3年間を過ごすことができたので、あっという間に時が経ちました。こうして仲間と卒業を迎えられたことを誇りに思います。

これから新しい環境でスタートしますが日々精進していきます」と学校生活の思い出なども交えながら答辞を述べると、会場は卒業する5名の生徒を包む温かい拍手に包まれました。



気持ちを新たにされた表情の3年生の皆さん

6年生を送る会～6年生の皆さんありがとう～

3月3日、今別小学校体育館において「6年生を送る会」が行われました。

在校生と一緒に入場した6年生は大きな拍手で迎えられ、1～5年生は今までお世話になった6年生に感謝を伝えるため、様々なお祝いの出し物を披露しました。1年生から音楽の演奏、2、3年生から歌のプレゼント、4年生からは大縄跳び対決が申し込まれ、見事6年生が勝ちました。5年生からは指定された人数で輪を作るゲームが行われ、全校児童が参加し、みんなで手を取り合いました。最後に6年生からはドラマでも有名になった「恋ダンス」が披露され、在校生から大きな拍手が送られました。最後にくす玉を割ると「ご卒業おめでとうございます」と書かれた幕が現れ、6年生が退場すると会場には紙吹雪が舞い、6年生の卒業をお祝いしました。



6年生の皆さん(左側)と楽しくダンス

フェンシング大会で優秀な成績を納める!

3月4・5日、青森県立青森北高校今別校舎体育館において、第10回あすなろ杯フェンシング大会が行われました。

大会に出場した選手は日頃の練習の成果を発揮し、青森市や黒石市の強豪選手相手に果敢に攻めるなど優秀な成績を収めました。結果は下記のとおりです。



優秀な成績を納めた左から横岡茉莉さん、横岡奈子さん、田中さん、相内さん

第10回「あすなろ杯」フェンシング大会試合結果		
高校男子の部	優勝	相内 大地さん (1年) (青森北高校今別校舎)
中学校男子の部	準優勝	田中 純さん (今別中2年)
小学校女子 高学年の部	優勝	横岡 奈子さん (今別小5年)
〃	5位	横岡 茉莉さん (今別小3年)

今別小学校ってどんなところ?

2月17日、今別こども園の年長さんと今別小学校1年生との交流会が行われました。

今回の交流会を楽しみにしていた1年生は、玄関で楽しそうに待ち、姿が見えると手を振ったり元気にあいさつしたりし、7名の年長さんを迎えました。1年生の嶋中紗雪さんから「皆さんと会うのを楽しみにしていました。ゲームなども準備しましたので、一緒に遊んで仲良くなりましょう」とあいさつが述べられ、1年生の児童5名は学校での生活や行事、授業で学習している音読などを発表し、その後、1年生が手作りで用意した的当てやくじ引きなどのゲームを一緒に楽しい時間を過ごしました。交流会の最後には、1年生が手作りしたメッセージ付きのメダルがプレゼントされ、年長さんはこれから始まる小学校生活を楽しみにしている表情でした。



ゲームを一緒に楽しんで仲良くなれました

関口コミュニティハウス完成!

関口地区に建設されていた「関口コミュニティハウス」がこのほど完成し、その完成式が3月20日に行われました。

完成式には地域の方々およそ30名が参加し、完成を喜び合いました。式では関口地区総代の西條開さんが「素晴らしいコミュニティハウスが建設されました。今後はこのコミュニティハウスを活用し、地域の交流の場として活用していきたい」と述べました。

式に参加した高橋賢悦さんは「この会館が地域の憩いの場として、さらに色々な方々とのコミュニケーションの場として活用していきたい」と話してくれました。大澤良さんも「木の香りがしてとても過ごしやすい。みんなで楽しめる場所にしたい」と話してくれました。

関口コミュニティハウスは地域のコミュニティの場としてだけではなく、バスの待合所、災害時の避難場所としても活用されます。



挨拶を述べる関口地区総代の西條さん



完成した関口コミュニティハウス

6年生を送る会&お楽しみ会

2月23日、今別小学校において放課後こども教室の「卒業生を送る会&おたのしみ会」が行われました。

今別小学校を卒業する6年生8名に在校生を代表し、2年生から皆さんへハンカチなどのプレゼントが手渡されました。野土谷知夏さんから「休み時間にいつも遊んでくれてありがとうございます。中学校でも頑張ってください」と述べると、在校生から大きな拍手が送られ、6年生からも「中学校でも勉強と部活一生懸命頑張ります」と目標が話されました。その後、〇×ゲームなど6年生と過ごす最後の放課後こども教室を楽しんでいました。



〇×ゲームは大盛り上がり!

今別町職員定期人事異動のお知らせ

平成29年4月1日付け発令の人事異動をお知らせします。

4月1日付け

新採用

区分	新任	旧任	氏名
課長級	総務課長	企画課長	平山 茂樹
	企画課長	総務課・総務次長	岩渕 健
	今別診療所事務長	道の駅いまべつ駅長	山田 基
	教育委員会教育課長	今別診療所事務長	川村 一樹
	議会事務局長	総務課・総務次長	嶋中 拓実
	総務課副参事 次長事務取扱	総務課税務次長	小鹿 輝美
	産業建設課副参事 次長事務取扱 (農業委員会事務局長兼務)	教育委員会教育課次長	中嶋 正文
	出納室副参事次長事務取扱	町民福祉課次長	平山 治門
次長級	総務課次長	企画課総括主幹	太田 和泉
	町民福祉課次長	町民福祉課総括主幹	綿谷 有子
	道の駅いまべつ副駅長	道の駅いまべつ総括主幹	高橋 峰子
主幹級	総務課主幹	総務課・運転管理主査	相内 譲
主査級	総務課主査	総務課・総務主査	田中 譲
主事級	総務課主事	総務課・税務主事	澤田 淳一
	総務課主事	総務課・総務主事	小鹿 亮磨
	総務課主事	総務課・税務主事	相内 峻
	総務課主事	総務課・総務主事	泉谷 優斗
	総務課主事	総務課・総務主事	成田 秀和
	総務課主事	総務課・総務主事	藤田 葵
	企画課主事	産業建設課主事	神 優樹
	産業建設課主事	企画課主事	東 慶将

区分	新任	氏名
新採用	総務課主事	澤田 悠太
	総務課主事	會津 有也
	総務課主事	佐々木 葵
	町民福祉課主事	小田桐優穂

再任用

区分	新任	氏名
再任用	総務課主幹専門員	太田 政彦
	産業建設課主幹専門員	島中 一
	教育課主幹専門員	本郷 光成
	道の駅いまべつ駅長 ・主幹専門員	綿谷 広巳
	道の駅いまべつ副駅長 ・主幹専門員	武知 活憲

3月31日付け

区分	新任	氏名
定年退職	総務課参事・課長	武知 活憲
定年退職	教育委員会教育課長	太田 幸則
定年退職	議会事務局長	本郷 光成
定年退職	出納室次長	木津 歌子
定年退職	総務課総務主幹	太田 政彦
退職	総務課・総務総括主幹	相内 裕子
退職	総務課・税務総括主幹	阿部 純子

平成29年3月分(4月納付分)の協会けんぽの保険料率についてお知らせします

青森支部の健康保険料率は変更となります。介護保険料も変更となります。

給与・賞与の 9.97% 平成29年2月分 (3月納付分)まで	健康保険料率	給与・賞与の 9.96% 平成29年3月分 (4月納付分)から	給与・賞与の 1.58% 平成29年2月分 (3月納付分)まで	介護保険料率	給与・賞与の 1.65% 平成29年3月分 (4月納付分)から
--	--------	--	--	--------	--

なお、平成29年度の都道府県ごとの健康保険料率は、支部別に「引上げ」「据え置き」「引下げ」に分かれます。

特定保険料率・ 基本保険料率とは	健康保険料率(9.96%)のうち、6.23%分は加入者の皆さまの医療費等に充てられる基本保険料率となり、3.73%分は後期高齢者医療制度への支援金等に充てられる特定保険料率となります。
---------------------	--

※40歳から64歳までの方(介護保険第2号被保険者)には、健康保険料率に全国一律の介護保険料率が加わります。

※変更後の健康保険料率と介護保険料率は3月分(4月納付分)から適用されます。

ご不明な点がございましたら、協会けんぽまでお問い合わせください。

【問合せ先】

全国健康保険協会青森支部

電話：017-721-2799(代表)

受付時間/平日8:30~17:15

〒030-8552

青森市長島2-25-3 ニッセイ青森センタービル

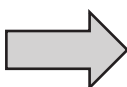
<http://www.kyoukaikenpo.or.jp/>

予算が決まる!

町議会3月定例会で平成29年度一般会計及び特別会計が成立しました。

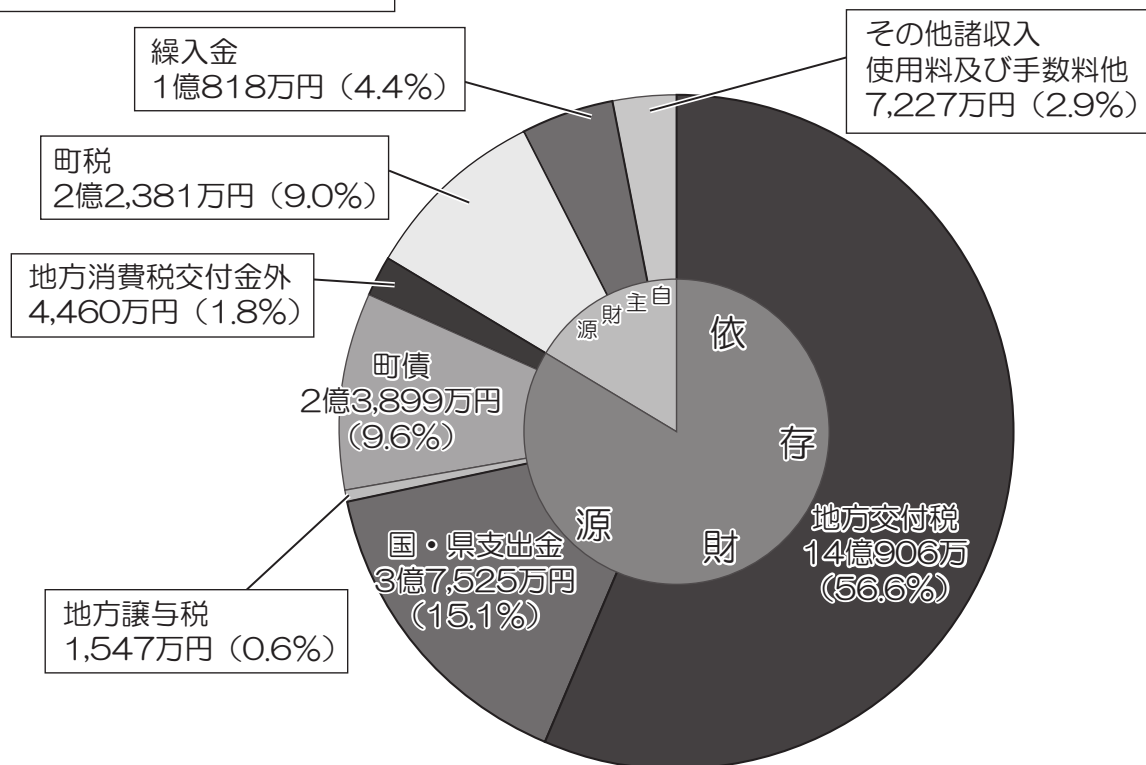
町にはどんなお金が入ってきて、町民のためにどのように使われるのか予算の概要をお知らせします。

一般会計予算 24億8千763万1千円
特別会計予算総額 15億3千531万4千円



前年度に比べ
6千646万の増額(2.7%)

一般会計歳入内訳



平成29年度 主な事業

一般会計

事業名	事業費
津軽線今別駅改修工事(新規)	10,200千円
八幡町地区コミュニティ助成事業補助金(新規)	2,500千円
新幹線等通学助成事業(継続)	2,056千円
二次交通整備事業負担金(継続)	1,521千円
運転経歴証明書交付補助金(新規)	33千円
保育園負担金軽減事業(継続) (※第1子5割助成 第2子以降全額助成)	1,338千円
乳幼児・児童生徒医療費給付金事業(継続)	3,911千円
健康長寿のまちづくり事業(継続)	1,759千円
開発センター外壁二期工事(継続)	20,569千円
いまべつ牛販売促進連絡会議補助金(継続)	7,331千円
大川平地区水路整備工事(新規)	10,813千円
県営ほ場整備事業二股地区負担金(継続)	36,000千円
水産振興事業推進交付金(新規)	753千円

事業名	事業費
襲月展望所新築工事(新規)	22,000千円
道の駅事業特別会計繰出金(継続)	29,432千円
今別町地域共通商品券発行事業等補助金(継続)	3,744千円
高野崎遊歩道法面整備工事(新規)	19,100千円
大泊1号外舗装補修工事(浜名地区)(継続)	90,000千円
第三長川水源地橋補修工事(継続)	66,000千円
中央団地1・3号棟解体工事(新規)	25,900千円
青森地域広域事務組合消防今別分署 建設用地地質調査外(新規)	16,302千円
消防車両購入事業(継続)	29,867千円
今別小学校鉄骨校舎解体工事(新規)	30,640千円
給食費軽減事業※5割助成(継続)	1,080千円
町民ふれあい運動会(新規)	1,112千円
国際交流事業(新規)	7,189千円

平成29年度当初

一般会計

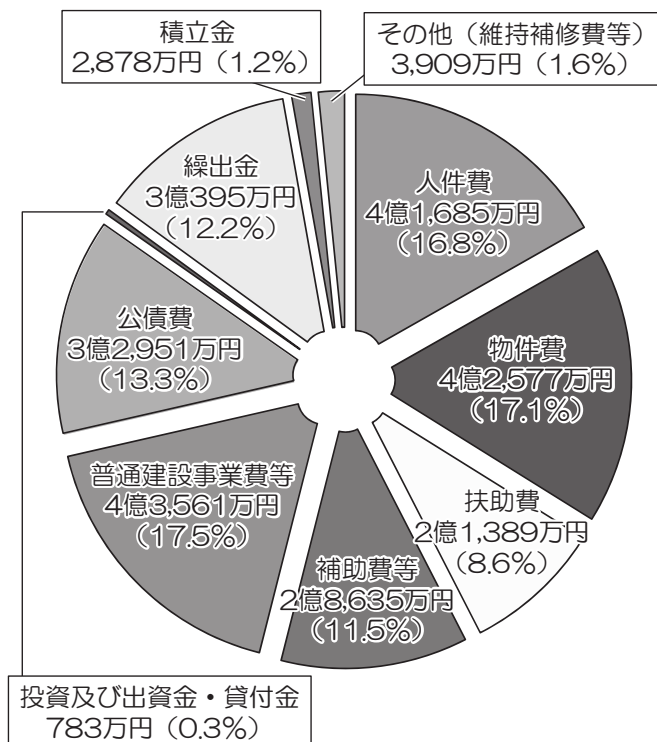
町民1人及び1世帯に使われるお金

1人当たり
879,643円

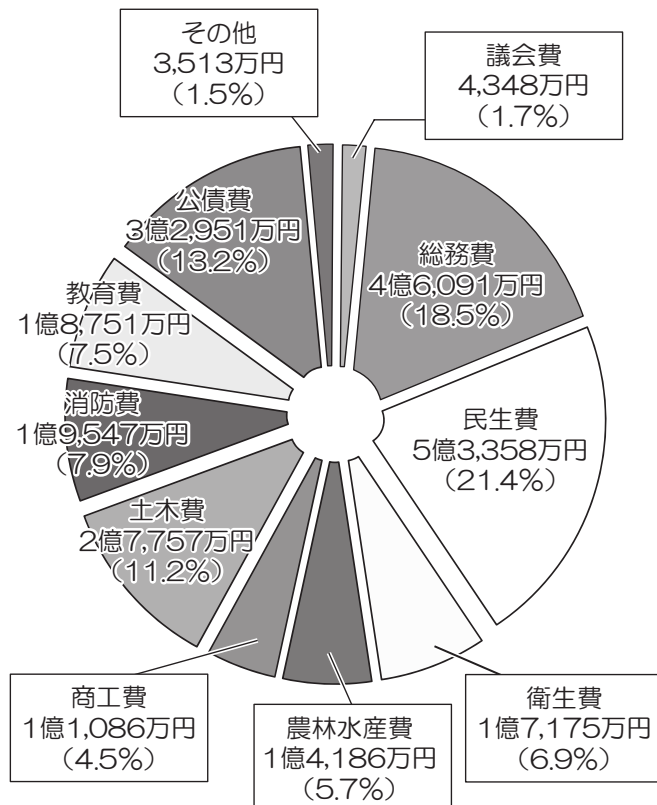
1世帯当たり
1,684,246円

平成29年2月28日現在
人口 2,828人
世帯数 1,477世帯
を基に計算しました。

一般会計歳出内訳 (性質別)



一般会計歳出内訳 (目的別)



平成29年度会計別予算額

会計名		当初予算額	増減率 (%) (対前年度比)
一般会計		24億 8千763万 1千円	2.7%
特別会計	国民健康保険特別会計(事業勘定)	5億 7千110万 1千円	▲2.0%
	国民健康保険特別会計(診療施設勘定)	1億 5千733万円	6.6%
	後期高齢者医療特別会計	4千830万 3千円	▲4.2%
	介護保険料特別会計(保険事業勘定)	5億 3千590万 1千円	0.6%
	介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)	1千792万 1千円	0.3%
	簡易水道事業特別会計	9千 2万 6千円	▲77.5%
	道の駅事業特別会計	1億 1千473万 2千円	26.2%
	小計	15億 3千531万 4千円	▲15.7%
合計		40億 2千294万 5千円	▲5.2%

海峡の家ほろづき 温泉の日のお知らせ

入浴の日

- 温泉の日は毎月水・土曜日です。4月は8日、12日、15日、19日、22日、26日、29日です。
- 入浴料は幼児無料、小中学生150円、高校生以上300円です。
- 入浴時間は正午から午後5時までです。

老人の日(無料)

- 毎月第3木曜日(祝日の場合は前日)は老人の日です。
- 対象年齢は65歳以上です。(年齢確認できるものの提示をお願いします)
- 入浴時間は午前10時から午後2時までです。

*各団体等の使用は予約により随時受け付けします。
*フェイスタオルは事務室で販売しています。



【問合せ先】

海峡の家ほろづき
町役場企画課

電話：0174-36-2166
電話：0174-35-3012

Elena's English Corner エレーナの英語コーナー No.7

Hello everyone! It's April at last!

こんにちは！やっと4月になりましたね。

In most of the U.S. April marks the start of spring. There are many outdoor festivals including the also Cherry Blossom Festival in Washington D.C. Did you know?

昔からアメリカで4月は春の始まりとして考えられ、たくさんの祭があります。例えばワシントンD.C.の桜まつりです。知っていましたか？

In Washington D.C. there are about 3,000 cherry trees that were a gift from Japan.

ワシントンD.C.には約3千の桜があり、その桜は日本からのプレゼントです。

This year, the festival started in mid-March and will end in mid-April.

今年の桜まつりは、3月中旬に始まり4月中旬に終わる予定です。

The first day of April is also known as April Fools. In the U.S. and other countries around the world, people will play pranks on friends and family members.

そして4月1日は、エイプリルフールです。アメリカを含め、多くの国で友達や家族にいたずらや嘘をつきます。

Newspapers will also print "joke articles" and explain them the next day.

4月1日に、新聞でも「冗談の記事」がのっていて、次の日の新聞で、冗談の記事だったことを説明します。

If your prank is successful, you can say "April Fools!" Do you have this in Japan?

自分のいたずらが成功であれば、相手に「エイプリルフール」と言えばいいです。

こういう習慣は日本にありますか？

Now then! This time's useful English phrase is...

では！今回の見えそうな英語表現は...

No, thank you.

「いいえ、けっこうです」



国民年金に関するお知らせ ~特定期間・特例追納制度のご案内~

国民年金保険料学生納付特例制度のご案内

国民年金は20歳以上であれば学生も加入しなければなりません。

しかし、学生の方は一般的に所得が少ないため、ご本人の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」があります。

対象となる方は、学校教育法に規定する大学(大学院)、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校(修業年限1年以上である課程)に在学する学生等で、ご本人の前年取得が次の計算式で計算した金額以下であることが条件です。

【所得の目安】

118万円 + 扶養親族等の数 × 38万円

学生納付特例の承認期間は4月から翌年3月までとなりますが、承認を受けた次の年度も在学予定である場合、4月始めに再申請の用紙が届きます。引続き学生納付特例制度をご希望の場合は、必要事項を記入の上ご返送ください。

詳しくは下記までお問い合わせください。

【問合せ先】

町役場 町民福祉課 国民年金係

電話：35-3003

日本年金機構 青森年金事務所 お客様相談室

電話：017-734-7498

今別診療所からのお知らせ

院内処方から院外処方へ

3月1日より、お薬は院外処方とさせていただきますことになりました。

患者様には診察の終了後に「院外処方せん」をお渡ししますので、会計終了後、希望される院外の保険薬局にお持ちになり、そしてお薬を受け取っていただくこととなります。また、車の運転ができない患者様、足の不自由な患者様などのために、診療所前から近隣の保険薬局まで送迎させていただきます。往復に要する時間、薬局での待ち時間が従来より多少時間がかかり、ご不便をおかけしますが、何卒ご容赦のほどお願いします。

8月上旬に、今別診療所敷地内に保険薬局がオープン予定です。それまでの期間、上記のとおり対応させていただきますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



【問合せ先】 今別診療所 電話：35-2680

イ マ ダ ス

町の行事予定（4月1日～5月10日）
※行事予定名・開催場所・担当を掲載しています。

4 月	
1日(土)	今別こども園入園式
7日(金)	今別小・中学校入学式
9日(日)	春の火災予防パレード(町内)【総務課】
18日(火)	今別中学校修学旅行～21日(金)まで
26日(水)	乳幼児健診・フッ素歯面塗布【町民福祉課】
5 月	
1日(月)	軽自動車税納期限【税務】

※4月13日(木)から始まる各地区の地区座談会の日程は、毎月チラシの「平成29年度年間行事予定」をご確認ください。

こころホットドッグを作ろう

3月16日、中央公民館において「子育て講座サロンほっとケーキ」が行われました。今回は皆さんで「こころホットドッグ作り」に挑戦し、参加した子供たちはボウルに材料を入れたり生地を混ぜたり楽しそうに作っていました。

完成したホットドッグを食べた皆さんからは「おいしい」という声が聞かれました。その後、子供たちはおもちゃで遊んだり元気に走り回るなど笑顔で楽しい時間を過ごしていました。



ホットドッグ作りを楽しむ参加者の皆さん

軽自動車税減免のお知らせ

身体障害者手帳、療育（愛護）手帳、精神障害者、戦傷病者手帳の交付を受けている方、またはその方と生計を一にする方が、これらの手帳の交付を受けている方の生業、通院、通学などのために軽自動車を使用している場合で、その障がい程度や車両の使用状況などが一定の条件に該当するときは、申請により軽自動車税の減免を受けることができます。

普通自動車税の減免を受けている方は軽自動車税の減免を受けられませんのでご注意ください。

申請受付期間：平成29年4月17日～平成29年5月1日

詳しくは役場総務課税務担当までお問い合わせください。

【問合せ先】

町役場 総務課税務担当 軽自動車係 電話：35-3008

皆さん、こんにちは。北海道新幹線「奥津軽いまべつ駅」が開業して1年が経ちました。昨年の開業から今年まで北海道や東京都などでのPRを行ってきました。その結果、当日のイベントでは多くの外の方にご来場いただき、町内外の皆さんと1周年を祝うことができました。今年も平成28年度も終わりましたが、今年度に入り組んでいきます。今年度も「広報いまべつ」をよろしくお願いいたします。

(広報担当 古村)

編集後記

平成28年度女性部交流研修会

3月2日、開発センターにおいて、今別町老人クラブ連合会の「平成28年度女性部交流研修会」が行われ、およそ60名の方が参加しました。研修会のレクリエーションとして3チームに分かれてカルタ取りや今別町に関するクイズで得点を競いました。懇親会では料理を囲みながら会話に華を咲かせ、ステージでは舞踊やカラオケなどで盛り上がり、笑顔が絶えない1日を過ごしていました。



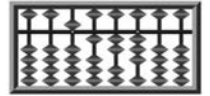
大盛り上がりのレクリエーション

合格おめでとう！

平成29年2月19日に行われた「第184回商工会珠算検定」の合格者をお知らせします。

第184回商工会珠算検定合格者

6級 笹谷 明笑さん(今小4年)



今別町ふれあい福祉センター4月の相談日のご案内

一般相談 日常のあらゆる心配ごとと悩みごと・・・など

相談種別	相談日	相談時間	相談員
生活一般相談	4月12日(水) 26日(水)	10:00 ～11:30	生活一般 相談員
電話相談	毎週月曜日～ 金曜日	10:00 ～17:00	社協職員

※土・日及び祝祭日は対応できませんのでよろしくお願い申し上げます。

※4月の専門相談はありませんのでよろしくお願いいたします。

※相談会場は開発センターです。

【問合せ先】 社会福祉法人 今別町社会福祉協議会
電話：35-3081

戸籍の窓口

(2月1日から2月28日までの届出分)
※ご家族から了承を得た方になります。

お悔やみ申し上げます

葛西 軍一さん (82)	今別
野土 かなさん (92)	今別
長内 清さん (89)	今別
木村 芳雄さん (67)	村元
吉田 すかさん (97)	大泊
川口 美代さん (91)	砂ヶ森
横岡 一磨さん (73)	奥平部

今別の姿

(平成29年2月28日現在)

面積	125.27km ²
人口	2,828人(-7)
男	1,347人(-5)
女	1,481人(-2)
世帯数	1,477(±0)
	()内は前月比



モンゴルフェンシングジュニアチーム来町！ 2020年東京五輪出場を目指して練習で汗を流す

2020年東京五輪出場を目指し、今別町と事前合宿誘致に合意したモンゴルフェンシング協会ジュニアチームが今年も来町し、3月19日から1週間合宿に入りました。今年も専修大学の学生6名も合宿に参加し、ともに練習で汗を流しました。宿泊場所となる海峡の家ほろづきで寝月地区の皆さん30名が温かく迎え、翌日には「モンゴルジュニアフェンシングチーム歓迎レセプション」が行われ、澤田教育長が「皆さんが来町されるのをとても楽しみにしていました。2020年東京五輪の出場を期待しています。」と歓迎のことばを述べると、モンゴルのジグジドスレンコーチは「毎年あたたかい歓迎ありがとうございます。選手は確実に力をつけてきており、将来モンゴルのフェンシングを支えていく選手たちです。今別町の期待に応えられるよう頑張ります」とあいさつをしました。その後、地元食材を使った料理を囲みながら懇親会が行われました。合宿中の食事は「はまなすの会」が料理を提供し、選手を栄養面でサポートしました。



2020年東京五輪出場を目指して、意気込み等を語るジグジドスレンコーチ

今別校舎で充実した練習！生徒にも温かく迎えられます！

3月21日、青森北高校今別校舎を訪問し、生徒や先生方に迎えられました。歓迎式では生徒から歓迎のことばが述べられ、生徒から2020年東京五輪出場の願いが込められた千羽鶴が贈られると、選手は笑顔で受け取っていました。

その後、同校体育館において専修大学フェンシング部と合同練習が始まり、実践に近い環境で対戦し、体育館にはカシャカシャと剣がぶつかる音が響きわたり、実りある練習時間を過ごしていました。



今別町出身で専修大学1年の澤田晃希さんは「モンゴルフェンシングチームの選手は身長が高く、大きさを活かしてどんどん攻めてくる。普段はなかなか対戦することが少ないタイプの選手と対戦できて自分のレベルアップにもつながっている」と話してくれました。



練習でともに汗を流す選手の皆さん(写真左)とモンゴルフェンシングチームと笑顔で記念写真を撮る今別校舎生徒の皆さん

3月21日には、モンゴルフェンシングチームのコーチ・選手が阿部町長のもとを表敬訪問しました。

バスが到着すると、役場職員がモンゴルの小旗を振り、モンゴル語でのあいさつやハイタッチなどで迎え1年ぶりの再会を喜び合いました。選手には阿部町長から剣が贈られると握手を交わし、これからのさらなる活躍を約束しました。

モンゴルの小旗を振り、選手やコーチを出迎えました

